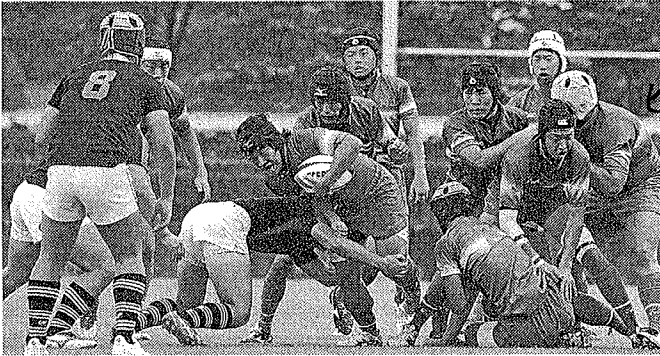


岡山高校選抜敗れる 近ラグビー 県一



前半、敵陣に攻め込む岡山高校選抜の選手たち＝美作ラグビーサッカー場

第62回近県ラグビー大会（岡山県ラグビー協会主催、山陽新聞社共催）が26日、美作市の美作ラグビーサッカー場で、高校と中学の2試合が行われた。高校の岡山選抜は愛媛選抜に0-12

▽高校
愛媛選抜 12(0)12(0)0 岡山選抜
▽中学
岡山選抜 36(2)15(0)0 徳島・高知スクール選抜 0(0)0(0)0 知スクール選抜

で敗れたが、中学の岡山県スクール選抜は徳島・高知スクール選抜に36-0で快勝した。

得点力に課題

○：国体出場を目指し、8校の25人で編成する高校の岡山選抜は無得点で敗れた。「前半押ししていたが、向こうは2度の好機で2トライ。勝負どころで差があった」と松本監督（玉島）。トライを取り切る得点力に課題を残した。

前半4分に先制を許した後、ほとんど敵陣でのプレーが続いた。トライまであと一歩まで迫りながら、セットプレーやハンドリングミスで得点機を失うと、19分に追加点を奪われた。体格が勝る相手にも前に鋭く出る守備が光っていただけに、1トライでも返せていればと悔やまれる。

回数はないながら、選抜チームの強化合宿ではバックスの展開などに取り組んできた。「後半は外を使うことができた」とCTB横田（倉敷工）が言うように成果の一端は見せた。8月にこの日と同じ会場である国

体中国ブロック予選に臨む。攻撃のオプションを増やしたい」と主将のランカー日下（津山工）。広島や島根など強豪を倒すには、さらなるブラッシュアップが必要だ。
(川中満仁)

顔はみえなげけどなぜだかわからず
石原航太君 (34)